

2022 年 4 月・GW の DATASALAD 宿泊稼働指数

～全国では横ばいも、キャンペーン・災害で稼働状況に差

2022 年 5 月 9 日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

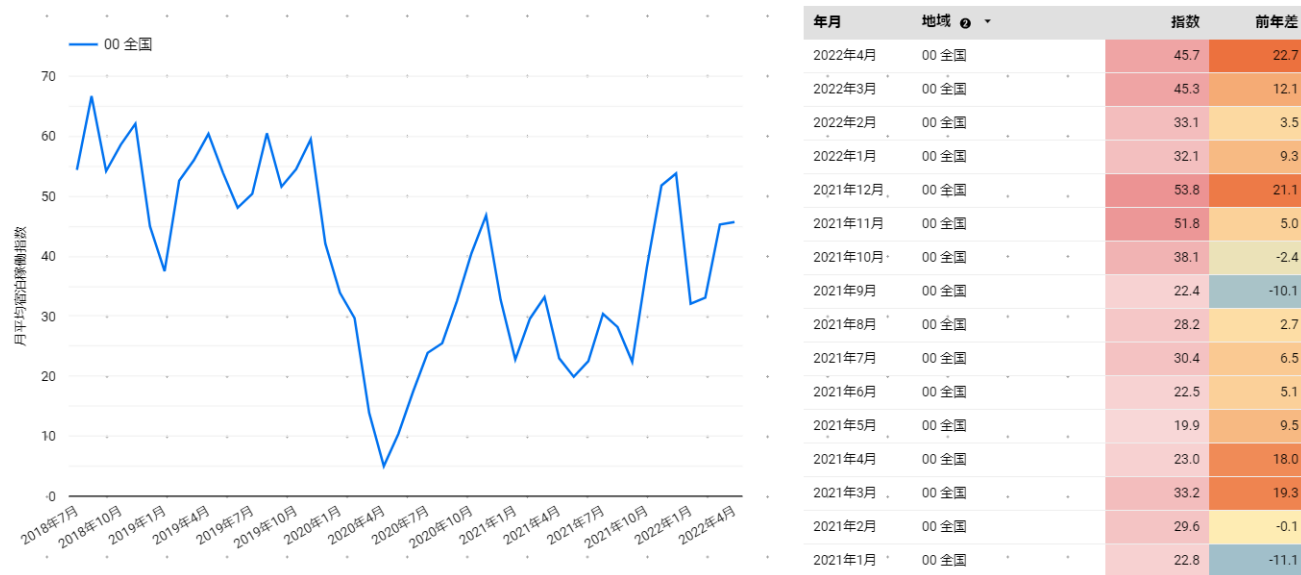
九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

本稿では、当会が宿泊予約サイトより取得したデータをもとに算出している「宿泊稼働指数¹」を活用し、2022 年 4 月における新型コロナウイルス感染拡大による宿泊施設への影響を分析する。

1. 全国の宿泊稼働指数：3 カ月連続で上昇

2022 年 4 月における全国の宿泊稼働指数は 45.7 となり、前月の 45.3 を上回り、3 カ月連続で上昇した（図 1）。4 月は新型コロナウイルスの感染状況が横ばいで推移したこと、県民割（隣接都道府県含む）などの観光振興施策により観光宿泊需要が堅調であったことなどの要因で、前月から大きく回復した 3 月並みの水準となった。

図 1 宿泊稼働指数の推移（全国）



注）2022 年 5 月 6 日時点の推計値 資料）九経調 DATASALAD

¹ 宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は 0 から 100 の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は 100 に、稼働状況が悪い場合は 0 に近づく。算出方法は「参考資料」を参照

2. 地域ブロック別の宿泊稼働指数：東日本を中心に上昇

2022年4月の宿泊稼働指数を12の地域ブロック別にみると、北関東（63.6）、東北（62.2）で高い傾向となった（表1）。

前月との比較では、8地域でプラスとなり、特に東北（前月差+11.8pt）、北関東（同+6.9pt）、北海道（同+6.6pt）など東日本でプラス幅が大きかった。一方、近畿（同▲10.2pt）、沖縄（同▲9.4pt）など4地域で前月差がマイナスとなった。なお九州は同▲2.8ptと2カ月ぶりのマイナスとなった。

また前年との比較では、12地域全てでプラスとなったが、前月比と同様、東日本での大きな回復が目立つ。

表1 地域ブロック別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2021年 4月	2022年 3月	2022年 4月	前年差	前月差
全国	23.0	45.3	45.7	22.7	0.4
北海道	27.5	30.4	37.0	9.5	6.6
東北	28.9	50.4	62.2	33.3	11.8
北関東	30.7	56.7	63.6	32.9	6.9
南関東	18.5	49.0	50.7	32.2	1.7
甲信越	29.5	35.8	38.8	9.3	3.0
東海	15.6	46.5	43.1	27.5	▲3.4
北陸	27.1	35.5	39.8	12.7	4.3
近畿	19.4	43.3	33.1	13.7	▲10.2
中国	27.3	47.1	48.3	21.0	1.2
四国	26.3	41.3	45.9	19.6	4.6
九州	26.6	50.0	47.2	20.6	▲2.8
沖縄	22.0	40.6	31.2	9.2	▲9.4

注）2022年5月6日時点の推計値 資料）九経調 DATASALAD

表2 地域ブロック別宿泊稼働指数

< 指数順 >

年月	地域	指数	前年差
2022年4月	CO031 北関東	63.6	32.9
2022年4月	CO02 東北	62.2	33.3
2022年4月	CO032 南関東	50.7	32.2
2022年4月	CO08 中国	48.3	21.0
2022年4月	CO10 九州	47.2	20.6
2022年4月	CO09 四国	45.9	19.6
2022年4月	CO05 東海	43.1	27.5
2022年4月	CO06 北陸	39.8	12.7
2022年4月	CO04 甲信越	38.8	9.3
2022年4月	CO01 北海道	37.0	9.5
2022年4月	CO07 近畿	33.1	13.7
2022年4月	CO11 沖縄	31.2	9.2

< 前年差順 >

年月	地域	指数	前年差
2022年4月	CO02 東北	62.2	33.3
2022年4月	CO031 北関東	63.6	32.9
2022年4月	CO032 南関東	50.7	32.2
2022年4月	CO05 東海	43.1	27.5
2022年4月	CO08 中国	48.3	21.0
2022年4月	CO10 九州	47.2	20.6
2022年4月	CO09 四国	45.9	19.6
2022年4月	CO07 近畿	33.1	13.7
2022年4月	CO06 北陸	39.8	12.7
2022年4月	CO01 北海道	37.0	9.5
2022年4月	CO04 甲信越	38.8	9.3
2022年4月	CO11 沖縄	31.2	9.2

注）2022年5月6日時点の推計値 資料）九経調 DATASALAD

3. 都道府県別の宿泊稼働状況：観光振興キャンペーン・災害要因で差が生じる

2022年4月の宿泊稼働指数を47都道府県別にみると、28都道県で前月を上回った（表3）。都道府県別では、福島県（73.0）や茨城県（70.2）、佐賀県（68.1）、宮城県（67.0）、埼玉県（67.0）などで高水準となった。茨城県や埼玉県、群馬県などでは、県民割の対象が4月上旬に関東各県に拡大したことから、稼働状況が前月から上昇した。また福島県や宮城県などでは、3月16日に発生した福島県沖地震、それに伴う東北新幹線の不通（～4月13日）の影響により、3月下旬以降、平日も含めた高い稼働水準が続いている。

一方、観光宿泊需要が大きい京都府（21.4）や沖縄県（31.2）、石川県（31.5）では、平日の稼働状況が伸び悩んでいる。また大分県（50.1、前月差▲18.3）などは県民割キャンペーンにより大きく上昇した前月からの反動、大阪府（37.7、同▲12.7）などはキャンペーンの停止の影響により、稼働状況が前月より低下したとみられる。

以上のように、観光振興キャンペーンや災害などの個別要因はあるものの、全体としては感染拡大第6波の緩和とともに稼働状況の回復トレンドが続いている。5月以降、県民割・地域ブロック割など需要喚起策が再開されることで回復傾向が強まるとみられる。しかし、感染者数は高止まりし、足元では再拡大も起きつつあり、楽観視はできない。

表3 都道府県別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2021年 4月	2022年 3月	2022年 4月	前年差	前月差		2021年 4月	2022年 3月	2022年 4月	前年差	前月差
全国	23.0	45.3	45.7	22.7	0.4	三重県	20.3	56.2	45.5	25.2	▲10.7
北海道	27.5	30.4	37.0	9.5	6.6	滋賀県	34.7	52.9	56.3	21.6	3.4
青森県	31.7	43.6	60.1	28.4	16.5	京都府	11.7	28.3	21.4	9.7	▲6.9
岩手県	36.4	42.1	47.8	11.4	5.7	大阪府	21.7	50.4	37.7	16.0	▲12.7
宮城県	16.9	52.4	67.0	50.1	14.6	兵庫県	24.2	50.9	47.2	23.0	▲3.7
秋田県	50.4	61.4	65.7	15.3	4.3	奈良県	18.3	52.6	49.5	31.2	▲3.1
山形県	23.2	37.8	39.2	16.0	1.4	和歌山県	25.3	45.2	32.4	7.1	▲12.8
福島県	31.1	59.3	73.0	41.9	13.7	鳥取県	36.2	43.3	55.9	19.7	12.6
茨城県	32.5	60.9	70.2	37.7	9.3	島根県	42.4	47.4	42.2	▲0.2	▲5.2
栃木県	24.1	54.3	55.7	31.6	1.4	岡山県	26.8	47.8	48.9	22.1	1.1
群馬県	41.8	55.2	64.6	22.8	9.4	広島県	15.1	42.3	46.2	31.1	3.9
埼玉県	26.6	60.0	67.0	40.4	7.0	山口県	33.8	61.2	60.4	26.6	▲0.8
千葉県	16.7	47.0	51.5	34.8	4.5	徳島県	48.0	44.4	52.3	4.3	7.9
東京都	18.5	46.5	46.3	27.8	▲0.2	香川県	21.5	34.9	40.5	19.0	5.6
神奈川県	16.0	53.7	52.1	36.1	▲1.6	愛媛県	16.5	41.4	42.7	26.2	1.3
新潟県	31.5	31.2	38.2	6.7	7.0	高知県	36.3	58.5	58.0	21.7	▲0.5
富山県	28.4	42.3	50.6	22.2	8.3	福岡県	21.3	38.7	39.2	17.9	0.5
石川県	21.1	26.7	31.5	10.4	4.8	佐賀県	40.4	64.3	68.1	27.7	3.8
福井県	45.2	56.8	57.0	11.8	0.2	長崎県	30.0	58.0	55.8	25.8	▲2.2
山梨県	27.5	44.8	39.2	11.7	▲5.6	熊本県	31.1	44.3	50.1	19.0	5.8
長野県	28.8	36.4	41.4	12.6	5.0	大分県	32.6	68.4	50.1	17.5	▲18.3
岐阜県	15.0	48.9	52.1	37.1	3.2	宮崎県	33.0	55.7	50.4	17.4	▲5.3
静岡県	17.9	44.7	41.1	23.2	▲3.6	鹿児島県	27.1	58.0	54.4	27.3	▲3.6
愛知県	17.8	42.9	39.5	21.7	▲3.4	沖縄県	22.0	40.6	31.2	9.2	▲9.4

注）2022年5月6日時点の推計値。

資料）九経調 DATASALAD

表 4 都道府県別宿泊稼働指数ランキング

< 指数順・上位 >

年月	地域	指数 ▼	前年差
2022年4月	07 福島県	73.0	41.9
2022年4月	08 茨城県	70.2	37.7
2022年4月	41 佐賀県	68.1	27.7
2022年4月	11 埼玉県	67.0	40.4
2022年4月	04 宮城県	67.0	50.1
2022年4月	05 秋田県	65.7	15.3
2022年4月	10 群馬県	64.6	22.8
2022年4月	35 山口県	60.4	26.6
2022年4月	02 青森県	60.1	28.4
2022年4月	39 高知県	58.0	21.7
2022年4月	18 福井県	57.0	11.8
2022年4月	25 滋賀県	56.3	21.6
2022年4月	31 鳥取県	55.9	19.7
2022年4月	42 長崎県	55.8	25.8
2022年4月	09 栃木県	55.7	31.6
2022年4月	46 鹿児島県	54.4	27.3
2022年4月	36 徳島県	52.3	4.3

< 前年差順・上位 >

年月	地域	指数	前年差 ▼
2022年4月	04 宮城県	67.0	50.1
2022年4月	07 福島県	73.0	41.9
2022年4月	11 埼玉県	67.0	40.4
2022年4月	08 茨城県	70.2	37.7
2022年4月	21 岐阜県	52.1	37.1
2022年4月	14 神奈川県	52.1	36.1
2022年4月	12 千葉県	51.5	34.8
2022年4月	09 栃木県	55.7	31.6
2022年4月	29 奈良県	49.5	31.1
2022年4月	34 広島県	46.2	31.1
2022年4月	02 青森県	60.1	28.4
2022年4月	13 東京都	46.3	27.8
2022年4月	41 佐賀県	68.1	27.7
2022年4月	46 鹿児島県	54.4	27.3
2022年4月	35 山口県	60.4	26.6
2022年4月	38 愛媛県	42.7	26.2
2022年4月	42 長崎県	55.8	25.8

< 指数順・下位 >

年月	地域	指数 ▲	前年差
2022年4月	26 京都府	21.4	9.7
2022年4月	47 沖縄県	31.3	9.3
2022年4月	17 石川県	31.5	10.4
2022年4月	30 和歌山県	32.4	7.1
2022年4月	01 北海道	37.0	9.5
2022年4月	27 大阪府	37.7	16.0
2022年4月	15 新潟県	38.2	6.7
2022年4月	40 福岡県	39.2	17.9
2022年4月	06 山形県	39.2	16.0
2022年4月	19 山梨県	39.3	11.8
2022年4月	23 愛知県	39.5	21.7
2022年4月	37 香川県	40.5	19.0
2022年4月	22 静岡県	41.1	23.1
2022年4月	20 長野県	41.5	12.7
2022年4月	32 島根県	42.2	-0.2
2022年4月	38 愛媛県	42.7	26.2
2022年4月	24 三重県	45.5	25.2

< 前年差順・下位 >

年月	地域	指数	前年差 ▲
2022年4月	32 島根県	42.2	-0.2
2022年4月	36 徳島県	52.3	4.3
2022年4月	15 新潟県	38.2	6.7
2022年4月	30 和歌山県	32.4	7.1
2022年4月	47 沖縄県	31.3	9.3
2022年4月	01 北海道	37.0	9.5
2022年4月	26 京都府	21.4	9.7
2022年4月	17 石川県	31.5	10.4
2022年4月	03 岩手県	47.9	11.4
2022年4月	19 山梨県	39.3	11.8
2022年4月	18 福井県	57.0	11.8
2022年4月	20 長野県	41.5	12.7
2022年4月	05 秋田県	65.7	15.3
2022年4月	27 大阪府	37.7	16.0
2022年4月	06 山形県	39.2	16.0
2022年4月	45 宮崎県	50.4	17.4
2022年4月	44 大分県	50.1	17.5

注) 2022 年 5 月 6 日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

4. ゴールデンウィークの宿泊稼働状況： 昨年から大きく上昇、太田市・萩市などで高い

2022 年ゴールデンウィーク（4 月 29 日～5 月 5 日）の宿泊稼働指数（トレンド成分+イベント成分の 7 日間平均）は全国で 73.2 となり、新型コロナ第 4 波の渦中にあった前年（同期間²）の 29.2 から大きく上昇した。ただし、感染拡大前となる 2019 年同期間 86.3 には及んでいない。

全国の主な市町村³で宿泊稼働指数が最も高かったのは太田市（群馬県）の 96.3 であった。太田市の周辺では足利市（栃木県）や佐野市（同）も指数が高く、藤棚で有名な「あしかがフラワーパーク」への来訪を目的とした宿泊者が多かったと考えられる。このほか、あわら市（福井県）、伊勢市（三重県）、高知市、大垣市（岐阜県）などで指数が高かった一方、札幌市や京都市などの大都市観光地、千歳市（北海道）や常滑市（愛知県）などの国際空港周辺では指数が低かった。

九州・沖縄・山口の主な市町村⁴で宿泊稼働指数が最も高かったのは萩市（山口県）で、このほか由布市（大分県）、石垣市（沖縄県）、天草市（熊本県）、阿蘇市（同）、嬉野市（佐賀県）、唐津市（同）でも宿泊稼働指数が高くなった。一方、福岡市・北九州市などの大都市、沖縄本島では指数が低くなった。

表 5 市町村別 2022 年ゴールデンウィーク期間宿泊稼働指数（抜粋）

市町村	指数	市町村	指数	市町村	指数
札幌市	53.2	北佐久郡軽井沢町	80.3	北九州市	63.1
函館市	82.6	大垣市	94.8	福岡市	64.9
小樽市	72.2	高山市	81.2	佐賀市	84.4
千歳市	44.7	羽島市	91.1	唐津市	89.1
青森市	90.0	熱海市	87.1	嬉野市	89.8
仙台市	87.4	名古屋市	73.0	長崎市	79.5
会津若松市	94.7	豊田市	60.3	佐世保市	86.4
土浦市	93.7	常滑市	54.6	雲仙市	82.5
足利市	93.6	伊勢市	95.3	熊本市	73.6
佐野市	93.0	志摩市	92.7	阿蘇市	91.3
日光市	90.0	京都市	58.3	天草市	91.4
那須塩原市	93.0	大阪市	64.9	大分市	76.8
太田市	96.3	神戸市	73.5	別府市	85.6
吾妻郡草津町	94.6	豊岡市	85.6	由布市	96.3
東京都特別区部	59.4	西牟婁郡白浜町	88.5	宮崎市	70.6
横浜市	70.4	出雲市	93.5	鹿児島市	84.0
足柄下郡箱根町	88.4	倉敷市	80.9	霧島市	80.3
新潟市	65.9	広島市	77.2	奄美市	87.7
金沢市	81.4	下関市	87.8	那覇市	62.7
七尾市	91.6	萩市	99.5	石垣市	92.9
あわら市	95.4	高松市	86.4	宮古島市	71.9
甲府市	92.8	松山市	85.8	国頭郡恩納村	60.6
松本市	86.3	高知市	95.0		

注）2022 年 5 月 6 日時点の推計値 下線は 2018 年以降の全期間における最大空室数が 300 未満の市町村

資料）九経調 DATASALAD

² 2021 年は 4 月 30 日が平日（金曜日）の飛石連休であったが、同日を除く 6 日間の宿泊稼働指数は 30.0 で大差はない

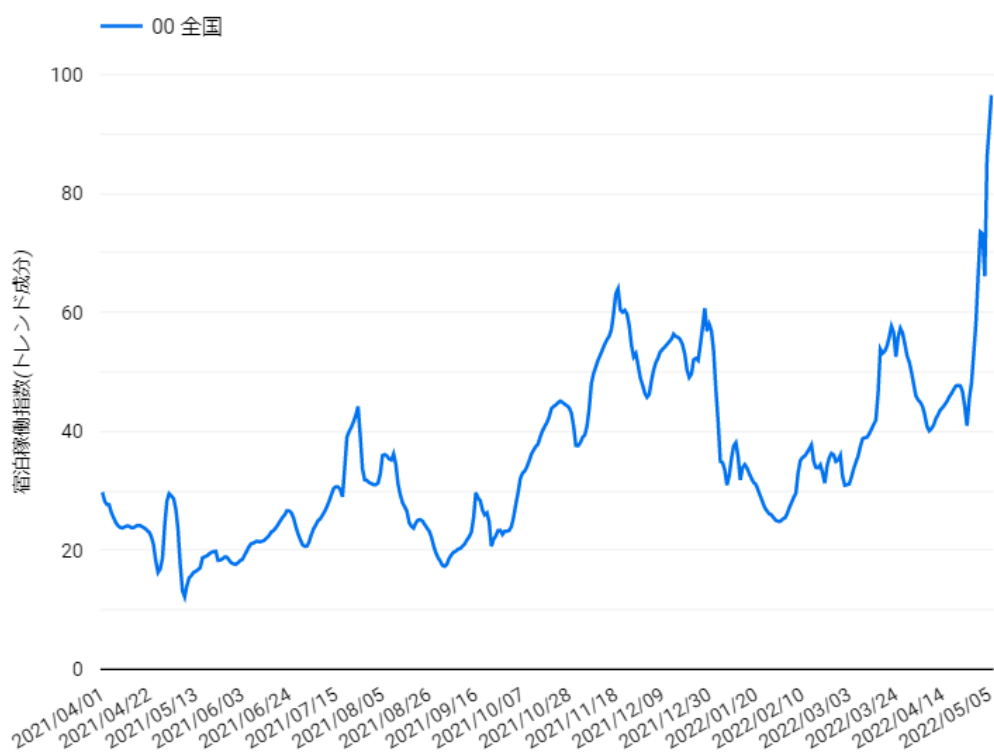
³ 2018 年以降の全期間における最大空室数が 300 以上の市町村

⁴ 2018 年以降の全期間における最大空室数が 150 以上の市町村（九州 7 県・沖縄県・山口県内）

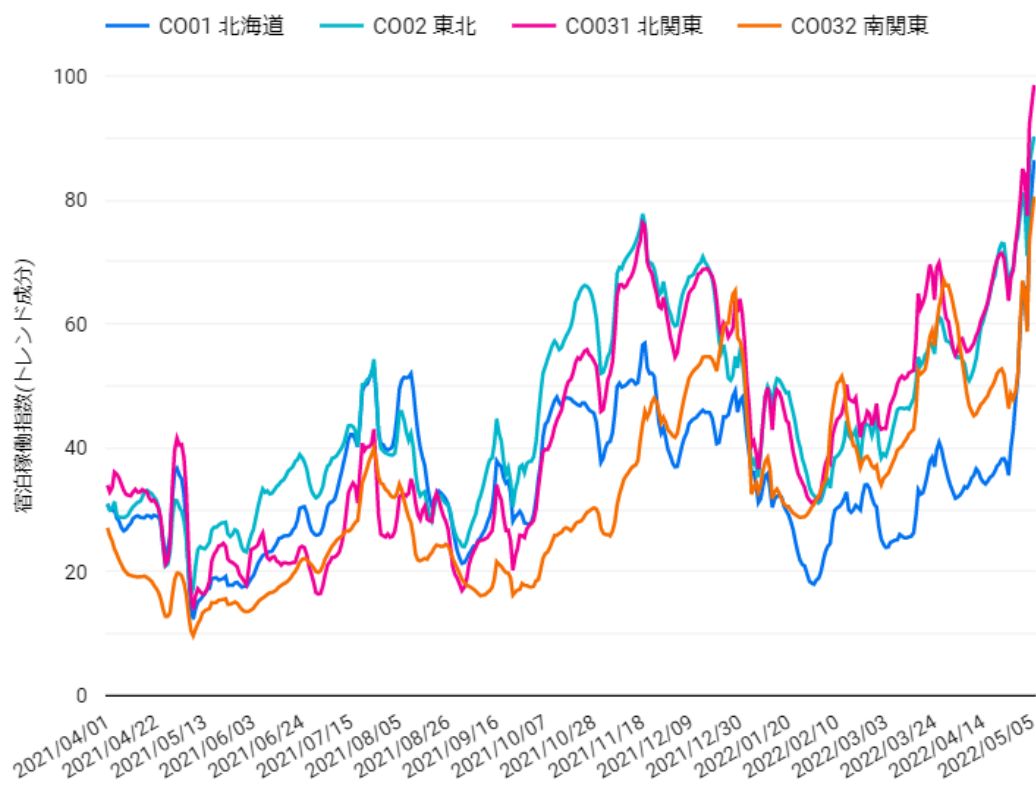
5. 参考：日次推移

図2 全国・地域ブロック別の日次推移（トレンド成分）

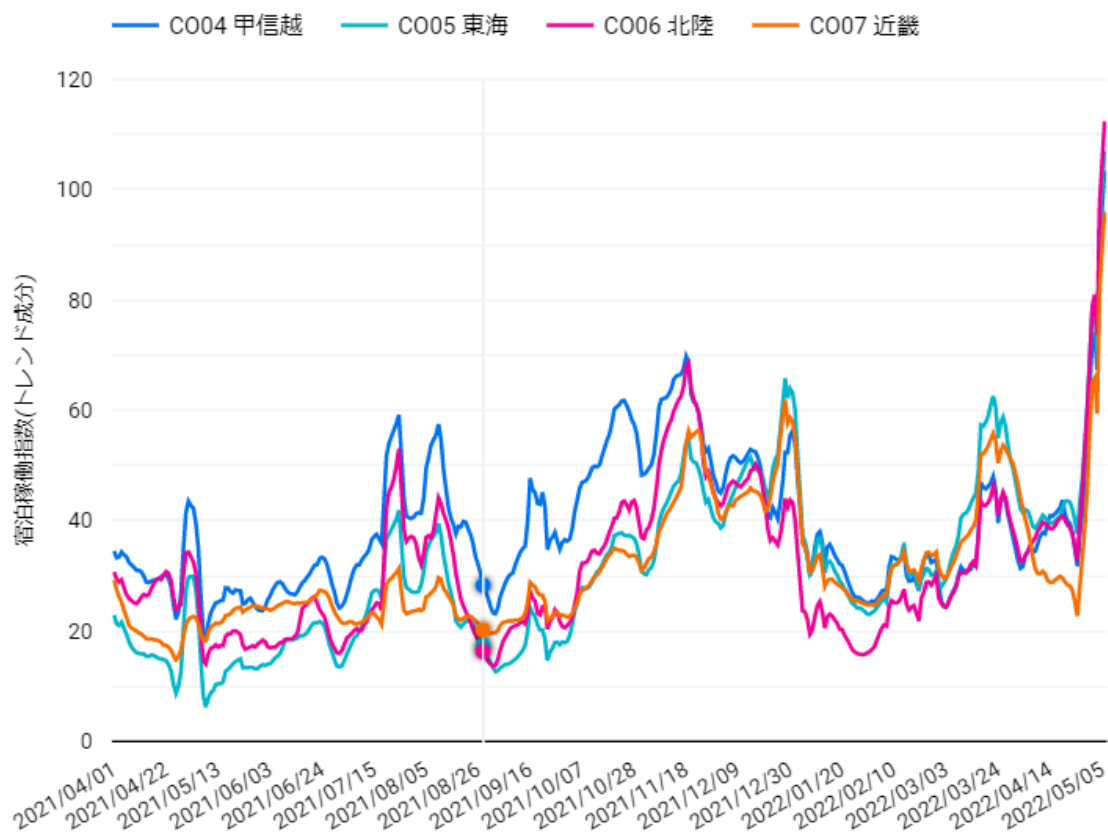
<全国>



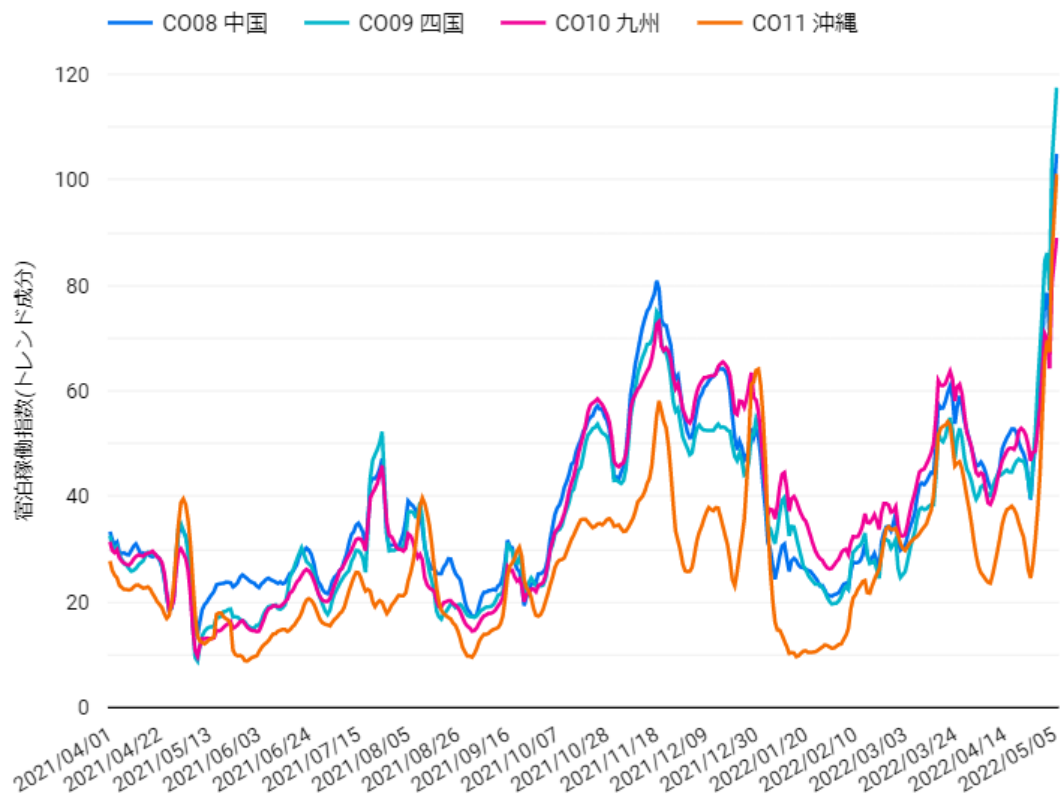
<北海道～南関東>



< 甲信越～近畿 >



< 中国～沖縄 >



注) 2022 年 4 月 3 日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

渡辺 隼矢 (事業開発部 研究員)

E-mail: jwatanabe@kerc.or.jp

参考資料

1. 宿泊稼働指数の算出方法

■日次（原数値）

$$100 - \left(\frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去 730 日の最大空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}} \right) * 100$$

※当該地域において、宿泊施設が過去 365 日以上連続して立地・稼働していると判定される場合に限り算出

※空室情報の取得開始時期が 2017 年 7 月であるため、2018 年 7 月～2019 年 6 月については過去 365 日以上 730 日未満の最大・最小空室数より算出している

■日次（トレンド成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因・イベント要因（イベント・その他の特殊要因）を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日以上連続して算出可能に限り算出

■日次（トレンド+イベント成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日以上連続して算出可能に限り算出

■月平均指数

「日次（トレンド+イベント成分）」を月ごとに単純平均したもの

※ある日のある地域において空室データが存在しない場合は、当日を含む前 14 日間かつ当日を含む後 14 日間において平均空室数が 0 より大きければ、当該地域において宿泊施設が連続して立地・稼働していると判定

※空室データの取得ができなかった日については、当日を含まない前 4 週間の同曜日の平均値により補間した上で要因分解を行っている

2. 緊急事態宣言発令に伴う対応

■休業施設を除いた特別集計

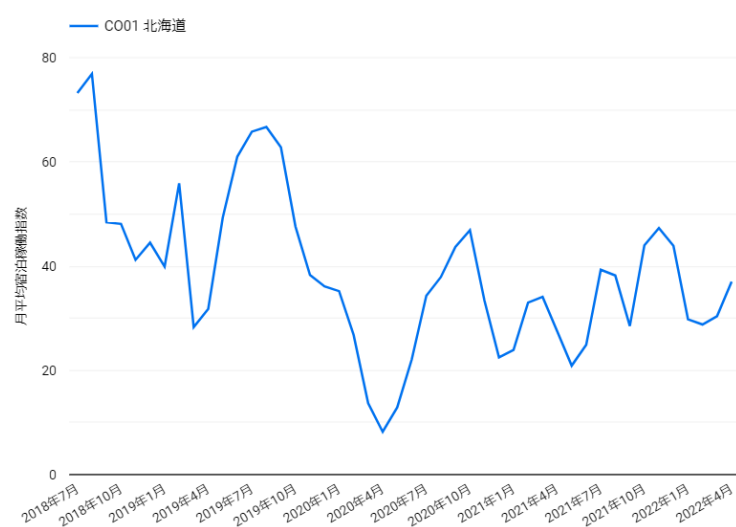
2020 年 4～5 月における緊急事態宣言の発令に伴い宿泊施設の休業がみられた。その影響がある 2020 年 4～6 月の宿泊稼働指数は、休業した宿泊施設を除くための処理を行って算出した。具体的には、2020 年 4 月に 20 日以上かつ 2020 年 5 月に 20 日以上空室が提供されている施設のみを対象に指数を算出した

■特別集計との接続

2021 年 4 月以降に発表している宿泊稼働指数は、全サンプルによる集計（2018 年 7 月～2020 年 3 月および 2020 年 7 月～）と上述の特別集計（2020 年 4 月～2020 年 6 月）を接続したものである。原数値を接続した上で、曜日調整をおこなっている

3. 地域ブロック別宿泊稼働指数の推移

<北海道>



年月	地域	指数	前年差
2021年12月	C001 北海道	43.9	21.4
2021年3月	C001 北海道	34.1	20.4
2021年4月	C001 北海道	27.5	19.3
2019年9月	C001 北海道	62.8	14.4
2021年11月	C001 北海道	47.3	13.9
2022年4月	C001 北海道	37.0	9.5
2021年5月	C001 北海道	20.9	8.0
2021年2月	C001 北海道	33.0	6.2
2022年1月	C001 北海道	29.8	5.9
2021年7月	C001 北海道	39.3	5.0
2021年6月	C001 北海道	24.9	2.8
2021年8月	C001 北海道	38.2	0.3
2019年10月	C001 北海道	47.6	-0.5
2020年10月	C001 北海道	46.9	-0.7
2021年10月	C001 北海道	44.0	-2.9
2019年11月	C001 北海道	38.3	-2.9

<東北>



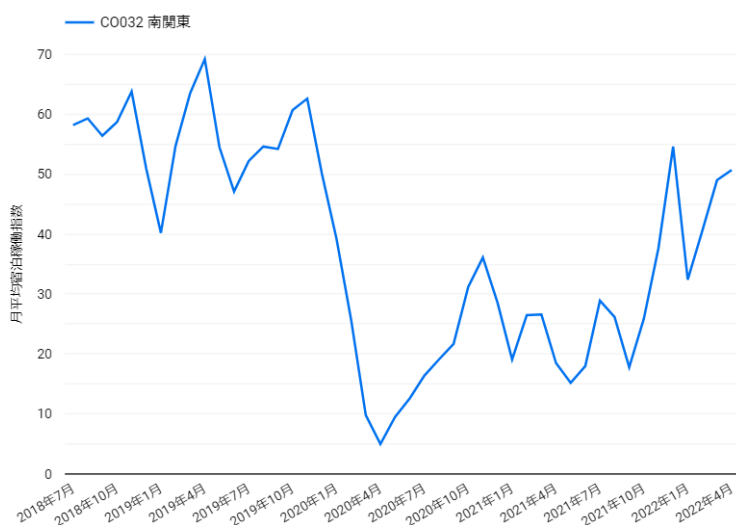
年月	地域	指数	前年差
2022年4月	C002 東北	62.2	33.3
2021年3月	C002 東北	41.5	22.3
2021年12月	C002 東北	62.2	22.3
2021年4月	C002 東北	28.9	21.1
2022年1月	C002 東北	43.0	15.8
2021年5月	C002 東北	26.2	13.1
2021年7月	C002 東北	41.9	13.1
2021年6月	C002 東北	33.5	11.1
2021年11月	C002 東北	66.5	10.8
2022年3月	C002 東北	50.4	8.9
2021年8月	C002 東北	34.8	4.7
2022年2月	C002 東北	39.2	2.0
2021年2月	C002 東北	37.2	1.6
2021年10月	C002 東北	56.9	1.2
2019年11月	C002 東北	60.0	0.1
2019年7月	C002 東北	56.0	-1.3

<北関東>



年月	地域	指数	前年差
2022年4月	C0031 北関東	63.6	32.9
2021年4月	C0031 北関東	30.7	22.9
2021年12月	C0031 北関東	63.1	22.7
2022年3月	C0031 北関東	56.7	21.2
2022年1月	C0031 北関東	41.4	13.6
2021年3月	C0031 北関東	35.5	13.1
2022年2月	C0031 北関東	43.0	11.3
2021年5月	C0031 北関東	24.3	10.6
2021年11月	C0031 北関東	63.6	8.1
2019年9月	C0031 北関東	55.2	3.6
2021年7月	C0031 北関東	28.7	3.1
2019年11月	C0031 北関東	62.7	1.8
2021年6月	C0031 北関東	22.2	0.5
2019年12月	C0031 北関東	52.2	-0.1
2021年8月	C0031 北関東	28.8	-0.2
2020年1月	C0031 北関東	37.6	-0.5

< 南関東 >



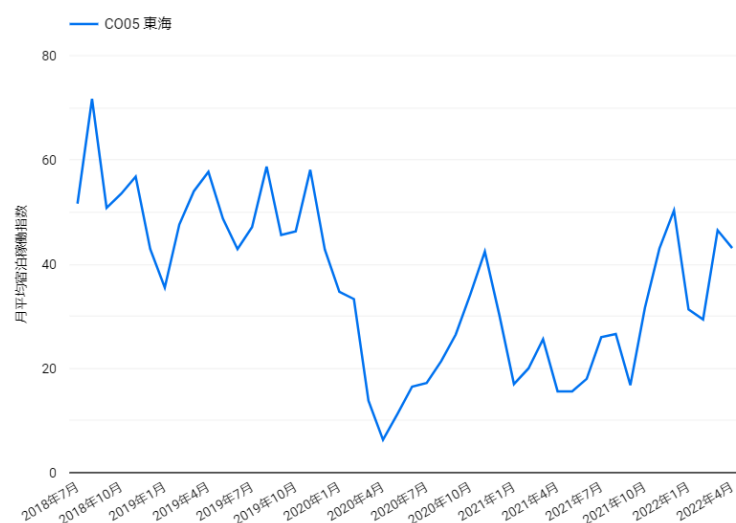
年月	地域	指数	前年差 ▾
2022年4月	CO032 南関東	50.7	32.2
2021年12月	CO032 南関東	54.6	26.0
2022年3月	CO032 南関東	49.0	22.4
2021年3月	CO032 南関東	26.6	16.8
2022年2月	CO032 南関東	40.6	14.1
2021年4月	CO032 南関東	18.5	13.5
2022年1月	CO032 南関東	32.4	13.3
2021年7月	CO032 南関東	28.9	12.5
2021年8月	CO032 南関東	26.2	7.1
2021年5月	CO032 南関東	15.2	5.7
2021年6月	CO032 南関東	18.0	5.4
2019年10月	CO032 南関東	60.7	2.0
2021年11月	CO032 南関東	37.7	1.6
2021年2月	CO032 南関東	26.5	0.8
2019年12月	CO032 南関東	50.1	-0.8
2020年1月	CO032 南関東	39.2	-1.0

< 甲信越 >



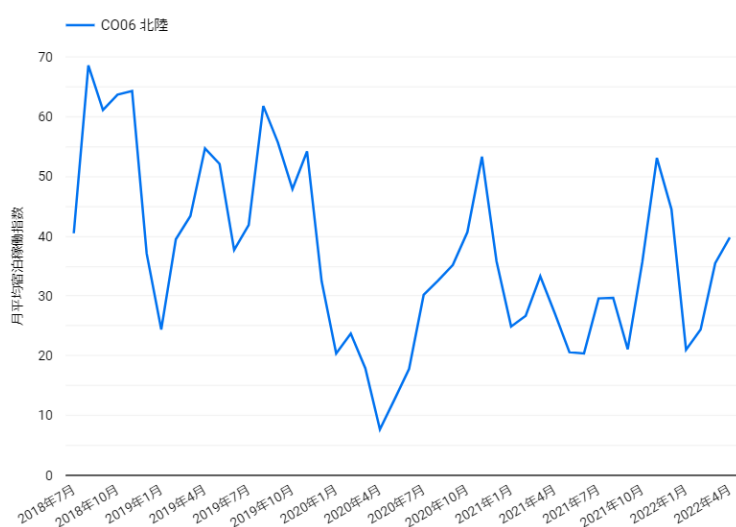
年月	地域	指数	前年差 ▾
2021年4月	CO04 甲信越	29.5	19.5
2021年3月	CO04 甲信越	37.1	17.6
2021年5月	CO04 甲信越	28.5	15.4
2021年12月	CO04 甲信越	49.1	12.6
2021年7月	CO04 甲信越	38.8	10.0
2022年4月	CO04 甲信越	38.9	9.4
2021年6月	CO04 甲信越	28.9	6.9
2022年1月	CO04 甲信越	32.6	6.0
2021年8月	CO04 甲信越	41.2	5.9
2021年11月	CO04 甲信越	58.2	4.8
2019年11月	CO04 甲信越	59.8	4.5
2019年12月	CO04 甲信越	41.8	2.9
2021年10月	CO04 甲信越	52.3	1.7
2020年1月	CO04 甲信越	35.3	1.2
2019年7月	CO04 甲信越	53.3	-1.0
2022年3月	CO04 甲信越	35.8	-1.3

< 東海 >



年月	地域	指数	前年差 ▾
2022年4月	CO05 東海	43.1	27.5
2022年3月	CO05 東海	46.5	20.9
2021年12月	CO05 東海	50.3	20.1
2022年1月	CO05 東海	31.3	14.3
2021年3月	CO05 東海	25.6	11.8
2022年2月	CO05 東海	29.4	9.4
2021年4月	CO05 東海	15.6	9.3
2021年7月	CO05 東海	26.0	8.8
2021年8月	CO05 東海	26.6	5.2
2021年5月	CO05 東海	15.6	4.3
2021年6月	CO05 東海	18.0	1.5
2019年11月	CO05 東海	58.1	1.3
2021年11月	CO05 東海	43.0	0.6
2019年12月	CO05 東海	42.8	-0.1
2020年1月	CO05 東海	34.7	-0.8
2021年10月	CO05 東海	31.6	-2.6

< 北陸 >



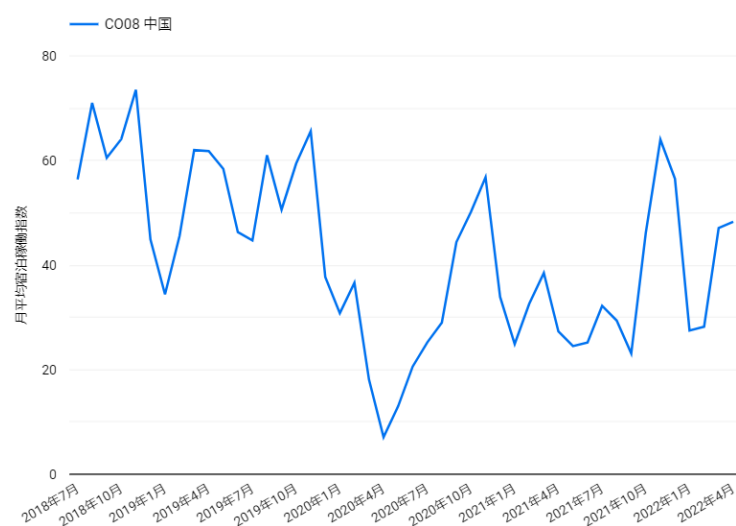
年月	地域	指数	前年差 ▾
2021年4月	CO06 北陸	27.1	19.4
2021年3月	CO06 北陸	33.3	15.4
2022年4月	CO06 北陸	39.8	12.7
2021年12月	CO06 北陸	44.5	8.7
2021年5月	CO06 北陸	20.6	7.9
2021年1月	CO06 北陸	24.9	4.5
2020年12月	CO06 北陸	35.8	3.3
2021年2月	CO06 北陸	26.7	3.0
2021年6月	CO06 北陸	20.4	2.6
2022年3月	CO06 北陸	35.5	2.2
2019年7月	CO06 北陸	41.9	1.4
2021年11月	CO06 北陸	53.1	-0.2
2021年7月	CO06 北陸	29.6	-0.6
2020年11月	CO06 北陸	53.3	-0.9
2022年2月	CO06 北陸	24.4	-2.3
2021年8月	CO06 北陸	29.7	-2.9

< 近畿 >



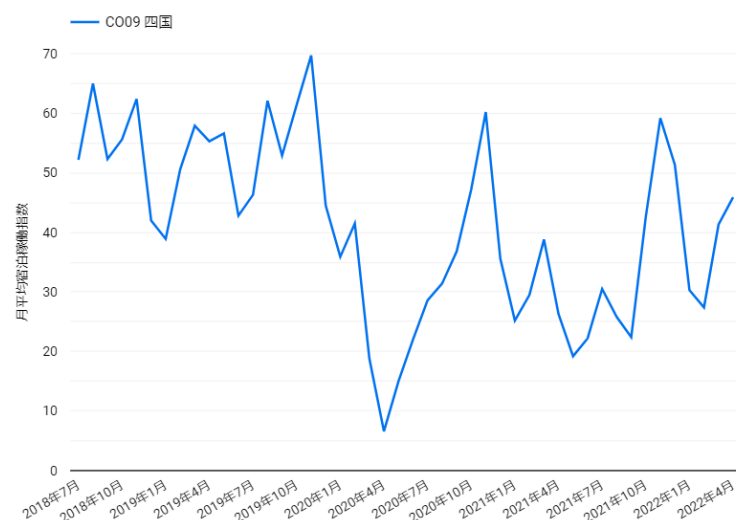
年月	地域	指数	前年差 ▾
2021年3月	CO07 近畿	32.3	23.8
2021年12月	CO07 近畿	47.5	18.8
2021年2月	CO07 近畿	32.0	16.6
2021年4月	CO07 近畿	19.4	15.0
2022年4月	CO07 近畿	33.1	13.7
2021年5月	CO07 近畿	22.8	11.8
2022年3月	CO07 近畿	43.3	11.0
2021年6月	CO07 近畿	25.3	7.8
2022年1月	CO07 近畿	30.2	5.6
2019年9月	CO07 近畿	40.4	4.2
2021年11月	CO07 近畿	44.6	2.0
2021年8月	CO07 近畿	24.3	-0.3
2019年12月	CO07 近畿	33.3	-0.7
2019年8月	CO07 近畿	52.8	-1.3
2022年2月	CO07 近畿	30.6	-1.4
2019年7月	CO07 近畿	41.3	-1.4

< 中国 >



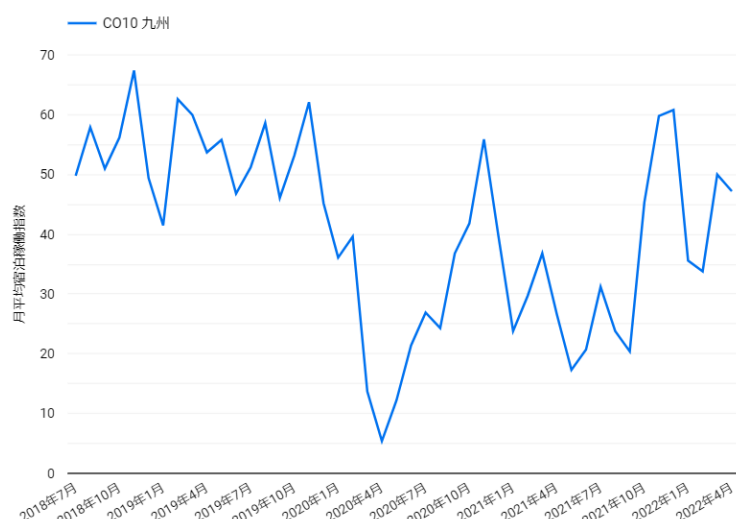
年月	地域	指数	前年差 ▾
2021年12月	CO08 中国	56.5	22.6
2022年4月	CO08 中国	48.3	21.0
2021年3月	CO08 中国	38.5	20.4
2021年4月	CO08 中国	27.3	20.2
2021年5月	CO08 中国	24.5	11.5
2022年3月	CO08 中国	47.1	8.6
2021年11月	CO08 中国	64.0	7.2
2021年7月	CO08 中国	32.2	7.0
2021年6月	CO08 中国	25.2	4.6
2022年1月	CO08 中国	27.5	2.6
2021年8月	CO08 中国	29.4	0.4
2020年1月	CO08 中国	30.8	-3.6
2020年12月	CO08 中国	33.9	-3.8
2021年2月	CO08 中国	32.6	-4.0
2021年10月	CO08 中国	46.2	-4.0
2022年2月	CO08 中国	28.2	-4.4

< 四国 >



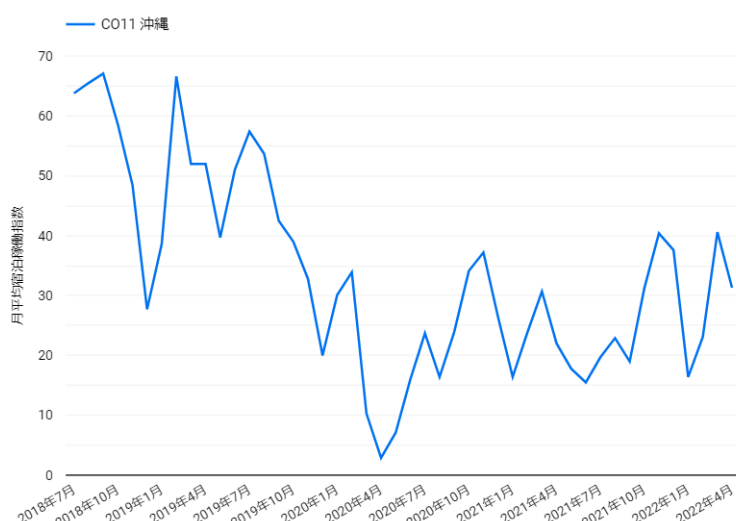
年月	地域	指数	前年差
2021年3月	C009 四国	38.8	20.0
2021年4月	C009 四国	26.3	19.7
2022年4月	C009 四国	45.9	19.6
2021年12月	C009 四国	51.3	15.7
2019年11月	C009 四国	69.7	7.3
2019年10月	C009 四国	61.4	5.8
2022年1月	C009 四国	30.3	5.1
2021年5月	C009 四国	19.2	4.2
2019年12月	C009 四国	44.5	2.5
2022年3月	C009 四国	41.3	2.5
2021年7月	C009 四国	30.5	1.9
2019年9月	C009 四国	52.9	0.6
2021年6月	C009 四国	22.2	0.2
2021年11月	C009 四国	59.2	-1.0
2022年2月	C009 四国	27.4	-2.1
2019年8月	C009 四国	62.1	-2.9

< 九州 >



年月	地域	指数	前年差
2021年3月	C010 九州	36.8	23.1
2021年12月	C010 九州	60.8	21.2
2021年4月	C010 九州	26.6	21.2
2022年4月	C010 九州	47.2	20.6
2022年3月	C010 九州	50.0	13.2
2022年1月	C010 九州	35.6	11.8
2021年5月	C010 九州	17.3	5.1
2021年7月	C010 九州	31.2	4.3
2022年2月	C010 九州	33.8	4.1
2021年11月	C010 九州	59.8	3.9
2021年10月	C010 九州	45.3	3.5
2019年7月	C010 九州	51.2	1.4
2019年8月	C010 九州	58.6	0.7
2021年8月	C010 九州	23.8	-0.5
2021年6月	C010 九州	20.7	-0.7
2019年10月	C010 九州	53.2	-3.0

< 沖縄 >



年月	地域	指数	前年差
2021年3月	C011 沖縄	30.7	20.4
2021年4月	C011 沖縄	22.0	19.1
2021年12月	C011 沖縄	37.6	11.2
2021年5月	C011 沖縄	17.8	10.7
2022年3月	C011 沖縄	40.6	9.9
2022年4月	C011 沖縄	31.3	9.3
2021年8月	C011 沖縄	22.9	6.5
2020年12月	C011 沖縄	26.4	6.4
2020年11月	C011 沖縄	37.2	4.4
2021年11月	C011 沖縄	40.4	3.2
2022年1月	C011 沖縄	16.4	0.0
2021年6月	C011 沖縄	15.5	-0.5
2022年2月	C011 沖縄	23.1	-0.7
2021年10月	C011 沖縄	31.2	-2.9
2021年7月	C011 沖縄	19.7	-4.0
2021年9月	C011 沖縄	19.0	-4.9

4. ゴールデンウィーク（4月29日～5月5日）の宿泊稼働状況

<全国（上位50市町村）>

全国順位	市町村	都道府県	宿泊稼働指数 (2022年GW)	2019年 同期間差	2021年 同期間差
1	太田市	群馬県	96.3	+ 9.2	+ 55.7
2	あわら市	福井県	95.4	▲ 4.2	+ 13.5
3	伊勢市	三重県	95.3	▲ 2.0	+ 40.7
4	高知市	高知県	95.0	▲ 1.1	+ 44.0
5	大垣市	岐阜県	94.8	+ 5.5	+ 66.7
6	会津若松市	福島県	94.7	▲ 2.8	+ 33.1
7	吾妻郡草津町	群馬県	94.6	▲ 3.0	+ 27.8
8	四万十市	高知県	94.4	+ 1.2	+ 20.7
9	土浦市	茨城県	93.7	+ 10.7	+ 43.0
10	足利市	栃木県	93.6	+ 1.2	+ 44.3
11	出雲市	島根県	93.5	▲ 2.5	+ 34.0
12	那須塩原市	栃木県	93.0	▲ 2.0	+ 35.2
12	佐野市	栃木県	93.0	▲ 3.5	+ 29.9
14	石垣市	沖縄県	92.9	+ 12.0	+ 24.2
15	甲府市	山梨県	92.8	▲ 0.9	+ 31.2
16	志摩市	三重県	92.7	▲ 5.4	+ 27.0
17	七尾市	石川県	91.6	▲ 3.9	+ 9.4
18	羽島市	岐阜県	91.1	+ 1.5	+ 62.8
19	伊豆市	静岡県	91.0	▲ 7.3	+ 16.8
20	網走市	北海道	90.7	+ 7.3	+ 32.8
21	日光市	栃木県	90.0	▲ 8.7	+ 34.0
21	青森市	青森県	90.0	▲ 1.8	+ 52.1
23	徳島市	徳島県	89.9	▲ 5.6	+ 51.8
24	松阪市	三重県	89.8	▲ 1.3	+ 43.8
25	伊東市	静岡県	89.1	▲ 8.9	+ 25.6
25	今治市	愛媛県	89.1	▲ 4.1	+ 54.6
27	丸亀市	香川県	89.0	▲ 3.8	+ 49.2
28	小山市	栃木県	88.5	▲ 2.5	+ 49.5
28	西牟婁郡白浜町	和歌山県	88.5	▲ 10.6	+ 28.1
28	鳥取市	鳥取県	88.5	▲ 5.4	+ 40.9
31	足柄下郡箱根町	神奈川県	88.4	▲ 9.5	+ 21.2
31	伊勢崎市	群馬県	88.4	+ 9.2	+ 36.0
33	長浜市	滋賀県	88.3	▲ 4.9	+ 28.2
34	米沢市	山形県	88.1	▲ 1.8	+ 36.7
35	下関市	山口県	87.8	▲ 7.0	+ 41.7
36	奄美市	鹿児島県	87.7	+ 15.2	+ 44.3
37	中津市	大分県	87.5	▲ 5.1	+ 44.8
37	佐久市	長野県	87.5	▲ 4.2	+ 13.5
39	仙台市	宮城県	87.4	▲ 5.0	+ 66.5
39	草津市	滋賀県	87.4	▲ 3.5	+ 31.1
39	彦根市	滋賀県	87.4	▲ 4.3	+ 27.0
42	富士吉田市	山梨県	87.3	▲ 7.1	+ 25.0
43	松江市	島根県	87.2	▲ 8.5	+ 27.3
44	福島市	福島県	87.1	+ 3.2	+ 54.4
45	熱海市	静岡県	87.1	▲ 11.5	+ 19.4
46	福井市	福井県	86.8	▲ 4.0	+ 51.6
47	富山市	富山県	86.7	▲ 4.9	+ 41.2
48	高岡市	富山県	86.5	▲ 2.5	+ 41.9
49	下田市	静岡県	86.4	▲ 9.8	+ 20.4
49	佐世保市	長崎県	86.4	▲ 9.5	+ 34.5

<九州・沖縄・山口（上位 30 市町村）>

九州・沖縄 ・山口順位	市町村	都道府県	宿泊稼働指数 (2022年GW)	2019年 同期間差	2021年 同期間差
1	萩市	山口県	99.5	+ 1.5	+ 11.9
2	由布市	大分県	96.3	▲ 3.2	+ 21.2
3	石垣市	沖縄県	92.9	+ 12.0	+ 24.2
4	天草市	熊本県	91.4	▲ 5.4	+ 10.9
5	阿蘇市	熊本県	91.3	▲ 7.3	+ 29.9
6	嬉野市	佐賀県	89.8	▲ 10.2	+ 8.2
7	唐津市	佐賀県	89.1	▲ 6.5	+ 57.0
8	下関市	山口県	87.8	▲ 7.0	+ 41.7
9	奄美市	鹿児島県	87.7	+ 15.2	+ 44.3
10	中津市	大分県	87.5	▲ 5.1	+ 44.8
11	人吉市	熊本県	87.2	+ 1.6	+ 16.8
12	島原市	長崎県	86.8	▲ 8.0	+ 31.2
13	佐世保市	長崎県	86.4	▲ 9.5	+ 34.5
14	防府市	山口県	86.2	▲ 1.8	+ 35.0
15	別府市	大分県	85.6	▲ 11.1	+ 31.7
16	山鹿市	熊本県	85.5	▲ 9.6	+ 23.2
17	日田市	大分県	84.7	▲ 10.7	+ 34.7
18	佐賀市	佐賀県	84.4	+ 0.8	+ 17.5
19	鹿児島市	鹿児島県	84.0	▲ 8.4	+ 42.4
20	山口市	山口県	82.7	▲ 10.0	+ 45.8
21	雲仙市	長崎県	82.5	▲ 15.8	+ 15.7
22	岩国市	山口県	82.0	▲ 14.4	+ 54.3
23	宇部市	山口県	80.6	▲ 7.4	+ 61.3
24	霧島市	鹿児島県	80.3	▲ 12.7	+ 34.5
25	長崎市	長崎県	79.5	▲ 12.6	+ 57.0
26	菊池郡大津町	熊本県	79.0	▲ 7.9	+ 42.0
27	八代市	熊本県	78.9	▲ 15.1	+ 38.4
28	糸満市	沖縄県	77.0	▲ 1.8	+ 30.1
29	大分市	大分県	76.8	▲ 14.3	+ 35.3
30	日向市	宮崎県	76.4	▲ 12.1	+ 31.2

注) 2022 年 5 月 6 日時点の推計値

宿泊稼働指数は 4 月 29 日～5 月 5 日における日次（トレンド+イベント成分）の平均値

全国順位は 2018 年以降の全期間における最大空室数が 300 以上の市町村が、九州・沖縄・山口順位は九州各県・沖縄県・山口県内における 2018 年以降の全期間における最大空室数が 150 以上の市町村が対象

資料) 九経調 DATASALAD